



夏季休暇期間中におけるアフリカ豚熱、 口蹄疫等の防疫対策の徹底について

昨年発生が確認された、新型コロナウイルスの感染が世界各国で継続しており、渡航の制限等の対策が講じられています。

一方、本年6月から出入国制限を緩和する方針が決定され、今後訪日外国人旅行者が徐々に増加することが見込まれます。

そのため、夏季休暇期間中は、**アフリカ豚熱、口蹄疫等**の国内への侵入リスクが極めて高い状況であると考えられます。

畜産関係者の皆様には、次の3点について再度確認をお願いします。

- 1 **海外渡航の自粛**
- 2 **病原体の持込みを防止するための人・物の消毒**
- 3 **家畜の健康観察及び**早期発見・早期通報****

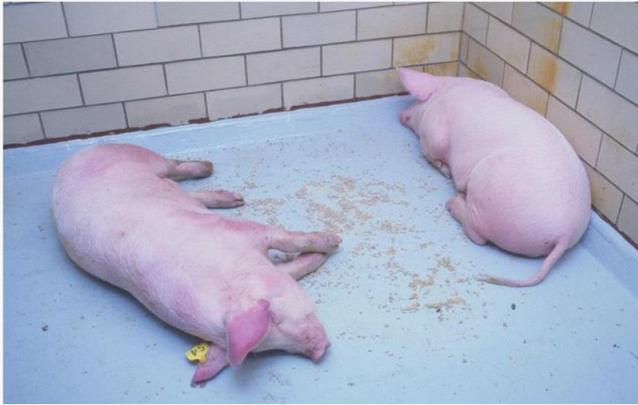
豚熱・アフリカ豚熱、口蹄疫の特定症状を呈している家畜を発見した場合は、速やかに青森家畜保健衛生所に連絡を！

電話 017-764-1744

休日・夜間 090-2274-0474

アフリカ豚熱の症状

症状は多岐にわたり、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱（40～42℃）、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



口蹄疫の症状

牛や豚などで、同一畜舎内の複数に発熱や食欲不振、よだれや、口、ひづめ、乳房に水ぶくれが見られる。

～牛の症状～



～豚の症状～



写真：宮崎県提供